



No. 155
2007年11月

ようこそ！ 県立図書館ホームページへ

求める本を、情報を、素早く的確にお届けするために
県下の公共・大学図書館と協力して提供いたします。

図書館ニュース

県下の各図書館で開催される研修や大会、講演会、イベント、ニュースをお知らせしております。

郷土ライブラリー

県立図書館に所蔵する地域（郷土）資料をご紹介しております。

資料を探す

県内の公共・大学図書館の蔵書を検索することができます。
(公共図書館18館、大学・高専10館)
また、平成19年2月1日以後の長崎、朝日、読売、毎日、西日本新聞、各紙の郷土関連記事の見出検索ができます。

インターネットサービス

利用者からのご質問にお答えするため、レファレンス（調査・相談）の申込を受け付けております。
また、レファレンス事例集も掲載しております。

図書館案内

県立図書館の利用、概要、交通アクセス等について御案内しております。

もくじ

- ようこそ！ 県立図書館ホームページへ P1
- 企画展紹介「長崎の詩人展」 P2
- 平成19年度第1回図書館実務研修会 P3
- 新規収集資料の紹介(新書ブーム再来)・文学に描かれたふるさと<4> P4
- 図書館紹介(長崎市立図書館) P5
- ちょっと楽しい図書館“活用術”・行事案内 P6



長崎の詩人展

長崎では大正時代に初の詩誌「草土」が創刊され、これを契機として県内各地で気鋭の詩人たちによって多くの詩作が行われてきました。

その中には、諫早出身の伊東静雄や壱岐出身の三富朽葉のように、日本の近代詩の文学史上大きな業績を残した詩人もいます。

そのような長崎の詩の歴史や長崎出身の詩人たちの業績、作品を中心に、約80点の資料を展示しています。

紹介している詩人

伊東静雄 三富朽葉 上村肇 風木雲太郎 宮崎康平 福田須磨子 山田かん
高塚かず子 田中俊廣 ほか14名



〈伊東静雄
コーナー〉



〈山田かん
コーナー〉



展示している文芸誌

「長崎文芸」（大正3年刊）
「紅毛船」（大正8年刊）
「歩」（昭和6年刊）
「長崎詩集」（昭和41年刊）

「研瑠会雑誌」（大正4年刊）
「草土」（大正11年刊）
「長崎文学」（昭和7年刊）
ほか



また、詩人たちが作詞した校歌を紹介したコーナーもあります。
ぜひ一度ご覧ください。

〈期 間〉 平成19年9月1日（土）～11月25日（日）
期間中の休館日 9/3 9/10 9/18 9/25 9/30
10/1 10/9 10/15 10/22 10/29 10/31
11/5 11/12 11/19

〈場 所〉 4階郷土資料展示室

〈時 間〉 9：30～17：00

〈入 場〉 無料

12月からの展示のお知らせ

【長崎の絵本作家展】 平成19年12月1日（土）～平成20年3月30日（日）
【長崎の漫画家展】



平成19年度 第1回 図書館実務研修会

テーマ

～本の世界の見せ方～

平成19年9月10日（月）南島原市立原城図書館において、
標記研修会を開催しました。

この研修会は、日常業務の諸問題についての研修をとおして関係職員の資質向上を図り、図書館等の運営の推進に寄与することを目的としています。

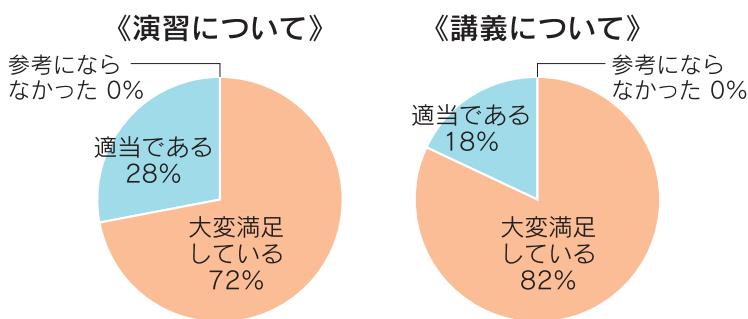
今回は、講師に滋賀県高月町立図書館長 明定義人氏をお招きし「本の世界の見せ方」をテーマに選書についての演習、講義を行いました。参加者は県内図書館関係者70名でした。



演習問題の1人ひとりの回答に丁寧な講評をいただき、利用者が楽しめるような書棚の構成について、具体的・実践的に考えることができました。選書は、図書館職員にとって最も基本的な業務であり、かつ、日々頭を悩ませるものですが、参加者からは「早速、明日からの業務に活かしていきたい」「日常に追われてつい忘がちな大事なことを再確認できました」などの声が多数聞かれ、時間が短く感じられるほど充実した研修会でした。

研修会参加者へのアンケート集計結果

回答率 (98.5%)



● 開催日程 ●

第3回 図書館実務研修会

《日 時》 平成19年12月3日（月）

《会 場》 長崎国際大学（佐世保市）

選書のポイント！

「利用者を否定しない棚」

- ・地域のニーズをくみ取る。
- ・資料内容を精査する。
- ・資料を知るための訓練をする。

特にこの3つを心がけながら選書することが大切だと学びました。

新書ブーム再来!! ~おもしろおかしなタイトル? — 新規収集資料の紹介 —

今日、新書が続々と出版されており、多くの本がベストセラーとなっています。日本における新書の起源は1938年創刊の岩波新書です。

新書の多くは、時代が必要とする情報がコンパクトなサイズと適任の執筆者によって書き下ろされていますが、表紙やサイズが同じであるため、ほかの本と区別することが難しいとされています。また、タイトルが難しいため、堅いイメージがありました。

最近の新書は、従来とは違い奇抜で眼を引くタイトルが多くなっています。それが、若者層を含めた多くの読者を惹きつけているのでしょうか。結果として多くの新書がベストセラーに名を連ねているのです。

最近、創刊された新書には幻冬舎新書、アスキー新書、学研新書など数多くあります。どの本を手にとっても、目を引きやすいタイトルであったり、時代に密着した話題が多く取り上げられています。これは『新書の革命』と言っても過言ではないかもしれません。

新書を出版された年代順に並べてみると、時代を反映する鏡のようにも見えます。是非一度ご覧になってみてください。



「裁判官の爆笑お言葉集」幻冬舎
長嶺超輝（長崎県出身）2007.3

シリーズ名（本館蔵書資料から） ※50音順

朝日新書 アスキー新書 岩波新書 岩波アクティブ新書 岩波ジュニア新書 角川oneテーマ KAWADE夢新書 カッパブックス 学研新書 幻冬舎新書 講談社+α新書 光文社新書 三一新書 サイエンス・アイ 集英社新書 祥伝社新書 新書y 新潮新書 新日本新書 青春新書 ソフトバンク新書 生活人新書 宝島社新書 ちくま新書 中公新書 中公新書クラレ 中公P.C.新書 中公クラシックス ノンブック パンドラ新書 PHP新書 PHPビジネス新書 扶桑社新書 ブルーバックス 文庫クセジュ 文春新書 平凡社新書 ベスト新書 丸善ライブラリー etc...

文学に描かれたふるさと <4>

「その日、父親がかぶを植えるのを手伝っていたキノは、空が中程まで黒っぽい雲で、おおわれているのを見ました。『父ちゃん、見ろ!』と、彼は叫びました。『火山がまた火を吹いとる。』父親は手を休め、心配そうに空を見つめました。『えらく怒っとるようだな・・・。きょうは眠れそうにねえぞ。』みんなが眠っている間も夜通し、キノの父親は見張っていました。あたりが暗くなると、空は赤く染まり、村では、地面がゆれていきました。」

（「つなみ THE BIG WAVE」 パール・バッカ／文 北面ジョーンズ和子ほか／訳 2005年 径書房刊）

代表作「大地」で知られるアメリカのノーベル文学賞受賞作家パール・バッカは、1927年（昭和2年）の初夏から秋にかけて4ヶ月間雲仙に滞在しました。そのとき地元で聞いた1792年の普賢岳噴火による災害、いわゆる「島原大変」などを題材に、短編小説を執筆しました。大津波で家族や家を失った少年が友達の家庭で育ち、たくましく生きて浜の再建を誓うという話です。パール・バッカが見た日本の印象をもとに、西洋とは異なる日本人の自然観や死生観、人間愛などが巧みに描かれています。



長崎市立図書館

2008.1.5
OPEN!

県都の中心地、官公庁・オフィスビルが並ぶ一画に、前面に広がるガラスのカーテンウォールに、側面をレンガ調タイルで包み、オープンスペースと屋上、壁面には豊かに緑を茂らせ、一際、開放とやさらぎ感を漂わす「長崎市立図書館」の施設が完成しました。



1～2階が、約350の閲覧席と25万冊を収容する開架書架を備えたメインフロアとなっており、エントランスの吹き抜け空間から自然採光を取り入れ、利用者に明るさと開放感のあるスペースとなっています。なお、最上階の4階は、55万冊が収容できる自動出納式の閉架書庫で、地下は駐車場です。

建物の図書館フロアと独立した東側には、生涯学習ゾーンとして、1階から3階に、様々な集いや交流による市民活動を支援するための多目的ホールや研修室、視聴覚ライブラリー、

パソコン室、映像メディア製作のスタジオ・編集室があります。

オープン時から約30万冊の資料をそろえ、ICタグによる蔵書管理システムの採用により、自動貸出機や自動返却仕分機などの最新の機器を導入して、市民の皆さんのがんばりの、そして様々なご要望にできるだけすばやく応えられるように準備を進めています。

もちろん、これからも市民の暮らしに役に立つ図書館として、豊富で多様な情報資料を収集し、何より図書館員が資質の向上とホスピタリティをもって、質の高いサービスを提供していきたいと考えています。

オープンは来年の1月5日となっています。図書館フロアの開館は、お仕事の帰りや、いろんな方の普段のライフスタイルにあわせてご利用いただけるよう、朝10時から夜8時まで、火曜日、年末年始、蔵書点検期間を除き、祝日も含めて年間300日以上とする予定です。ぜひ、ご来館ください。



ちょっと楽しい図書館 “活用術”

図書館で「楽譜」を大発見！

県立図書館 3階閲覧室で「楽譜コーナー」を見つけました。図書館に本があるのはわかるけど“楽譜も本なの？”ちょっとびっくり。近くにいた司書さんにその理由を聞いてみると「楽譜も紙（面）にかかれた本として扱っている。絵画（複製）を置いている図書館もある」とのこと。これはちょっとした大発見！！

さて、この楽譜、クラシックから、演歌、ハーモニカ、ギターまでいろいろな種類が揃っており、なかには和太鼓や二胡、三味線、琴などの珍しい楽譜もある。長崎自慢の“ちゃんぽん”いや“和華蘭（わからん）”世界的でもあり、おもしろい。一度足を止めて覗いてみる価値はある。

また、遠方の方には、「ホームページで調べることもできる」とのこと、ちょっと得した気分。楽譜はなかなか取り寄せが大変との話もあり、「楽譜」も借りられる、図書館活用術としてチェックしておこう。

ホームページからの検索方法は（URL <http://www.lib.pref.nagasaki.jp>）
トップページの「蔵書検索」→「ジャンル別検索」→「芸術」→「音楽・舞踊」→「音楽」や「器楽」の順で操作して検索してみてね。

行事案内

11月 ▶ 2月

長崎県読書グループ連絡協議会 史跡見学

《日 時》11月9日（金）10：20～15：30
《場 所》長崎市
《主 催》長崎県読書グループ連絡協議会、
 県立長崎図書館
《内 容》長崎市内の文化施設、史跡等の見学

第3回 県立長崎図書館講座

《日 時》11月10日（土）13：30～15：30
《会 場》県立長崎図書館 講堂
《主 催》県立長崎図書館
《内 容》講演「花を売らずに夢を売る」
 ランドスケープアーティスト
 （株）風花 代表取締役 石原和幸 氏

蔵書点検に伴う 休館日のお知らせ

《期 間》1月28日（月）～2月9日（土）

長崎県公共図書館長会議

《日 時》11月19日（月）13：00～17：30
《会 場》県立長崎図書館 研修室
《主 催》県教育委員会、県立長崎図書館
《内 容》図書館活動振興上の諸課題について協議
 講演「館長の職務と図書館経営」
 前滋賀県立図書館長 梅沢幸平 氏

第3回 図書館実務研修会

《日 時》12月3日（月）
《会 場》長崎国際大学（佐世保市）
《主 催》県公共図書館等協議会・県大学図書館
 協議会・県立長崎図書館
《内 容》「情報検索の活用法」に関する講義

第2回 長崎県立長崎図書館協議会

《日 時》2月29日（金）
《会 場》県立長崎図書館 研修室
《主 催》県教育委員会、
 県立長崎図書館

